

HeartCore CMS インストールマニュアル (JSP 版)

September 2020 Ver1.4

改訂履歴

	改訂日	改訂内容
初版	2016年11月	新規作成
1.1	2016年12月	MariaDB ドライバファイル及び、DB 接続定義ファイルの設置について説明を追加
1.2	2018年10月	V11用に改訂
1.3	2019年03月	V11.0.3用に改訂
1.4	2020年09月	V11.2用に改訂

目次

1. 本文書の目的と対象	- 4 -
2. インストールの流れ	- 4 -
3. MySQL ユーザーの作成.....	- 5 -
4. データベースの作成	- 6 -
5. ドライバファイルの配置	- 6 -
6. HeartCore の配置	- 7 -
7. Tomcat の起動.....	- 8 -
8. インストールの実施	- 8 -
9. 注意事項.....	- 16 -
9.1. Tomcat8 を利用する場合	- 16 -
9.2. AWS (Amazon Web Services) 上に HeartCore を構築する場合	- 17 -
9.3. Tomcat9 を利用する場合	- 17 -

1. 本文書の目的と対象

HeartCore CMS の v11.2 インストール手順について説明致します。

【インストール環境情報】

対象 OS	CentOS 8
A Pサーバ	Apache Tomcat Version 9.0.37 ※JAVA 実行環境 : JDK 11 以降
D Bサーバ	5.7.31 MySQL Community Server (GPL)
HeartCore	HeartCoreWCMS_V11_2_JSP_CMS

2. インストールの流れ

インストールの流れは、下記の通りとなります。

なお、インフラ関連 (JDK, Tomcat, MySQL など) のインストール、および、設定方法につきましては、本文書では割愛させていただきます。

各操作方法 (D B操作等) につきましては、適宜、内容をおきかえて進めてください。

【インストールの流れ】



3. MySQLユーザーの作成

HeartCore で使用する MySQL ユーザーを作成します。

【MySQL へのアクセス】

初期登録されている管理者ユーザー root を使い、MySQL へ接続します。

```
# mysql -uroot -p;
Enter password:
Welcome to the MySQL monitor.  Commands end with ; or ¥g.
Your MySQL connection id is 100057
Server version: 5.7.31-log MySQL Community Server (GPL)

Copyright (c) 2000, 2020, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Oracle is a registered trademark of Oracle Corporation and/or its
affiliates. Other names may be trademarks of their respective
owners.

Type 'help;' or '¥h' for help. Type '¥c' to clear the current input statement.
mysql>
```

【MySQL ユーザーの作成】

データベースに接続するために、管理者権限を持つ MySQL ユーザーを作成します。
例) ユーザー名「admin」、パスワード「!Adm1nPassword」の場合

```
mysql> grant all privileges on *.* to admin@localhost identified by '!Adm1nPassword' with
grant option;

mysql> grant all privileges on *.* to admin@'%' identified by '!Adm1nPassword' with grant
option;
```

4. データベースの作成

HeartCore で使用するデータベースを作成します。

例) データベース名「admindb」、デフォルト文字コード「utf8」の場合

```
mysql> create database admindb default character set utf8;
```

※HeartCore で利用するデータベースの文字コードは、「UTF-8」となります。

事前に、データベースの文字コードを「UTF-8」に設定してください。

【設定例：MySQL 定義ファイル(my.cnf)に設定】

```
[mysqld]  
character-set-server=utf8
```

※mysqld セクションの末尾に追加します。

※AWS (Amazon Web Services) 上に構築される場合は、【9. 注意事項】もご参照ください。
データベース文字コードについて記載しております。

5. ドライバファイルの配置

HeartCore を利用するための DB 接続ドライバファイルは

「ROOT/WEB-INF/lib」ディレクトリに配置 (mysql.jar、ojdbc6.jar) されておりますので、別途配置する必要はございません。

※MariaDB データベースを利用する際は必要となりますので、別途配置をお願い致します。

- **mariadb-java-client-x.x.x.jar**

※MYSQL8 データベースを利用する際は必要となりますので、別途配置をお願い致します。

すでに配置されている「mysql.jar」は削除ください。

- **mysql-connector-java-x.x.x.jar**

(上記、ドライバ名の「x」はバージョン名となります。ご利用するデータベースに合わせて最新バージョンのドライバを入手して配置してください)

6. HeartCore の配置

HeartCore ファイルを配置する際は、アプリケーションサーバ(Tomcat)を停止したうえで、作業を実施し、ファイルを配置後、アプリケーションサーバ(Tomcat)を起動してください。

【HeartCore ファイルの解凍】

「HeartCoreWCMS_V11_2_JSP_CMS.zip」モジュールファイルを解凍します。

例) 「/usr/local/apache-tomcat-9.0.37/webapps」 配下に HeartCore モジュールファイル (HeartCoreWCMS_V11_2_JSP_CMS.zip)を配置している場合

```
# cd /usr/local/apache-tomcat-9.0.37/webapps/  
# unzip HeartCoreWCMS_V11_2_JSP_CMS.zip
```

※解凍後、HeartCoreWCMS_V11_2_JSP_CMS ディレクトリが作成されています。

【HeartCore モジュールファイルの配置】

HeartCore を配置します。

本書では配置個所を、\${TOMCAT インストールディレクトリ}/webapps/ROOT としております。必ず、ドキュメントルート直下に配置してください。

```
# mv ROOT bk_ROOT  
# mv HeartCoreWCMS_V11_2_JSP_CMS ROOT
```

7. Tomcat の起動

Tomcat を起動します。

8. インストールの実施

HeartCore のインストールを実施します。

お使いの Web ブラウザより、HeartCore 管理画面へアクセスします。

`http://[サーバーIP アドレス]/webadmin/`

【ステップ 0 : サーバー】

WEBサーバー、および HeartCore の設定に問題がないか自動的にチェックが行われ、サーバーの設定に問題がある場合、ステップ 0 が表示されます。

設定に問題が無い場合は、本画面は表示されず「ステップ 1 : データベース」が表示されます。

問題がある場合、これらの問題を解決する必要があります。サーバーチェックで赤文字の警告が出た場合、Web サーバーの設定、もしくは HeartCore のインストレーションをチェックし変更する必要があります。さらに、黄色字で、制限における警告文などが報告される場合があります。

設定クイックスタート

5つの簡単なステップで、新しいWebサイトが立ち上がり、すぐにコンテンツの閲覧、編集ができます。いくつかのステップはすでに設定がされている場合があります。

ステップ 0: サーバー ステップ 1: データベース ステップ 2: ライセンス ステップ 3: スーパーユーザ ステップ 4: コンテンツ ステップ 5: デザイン ステップ 6: 設定

サーバー

WEBサーバーとHeartCoreの設定が問題無いかどうかチェックをしてください。

Webコンテンツ管理システムインストール

- OK Webサイトホーム/ルートフォルダー: /usr/local/tomcat/ /webapps/ROOT
- OK Webサイト管理フォルダー: /usr/local/tomcat/ /webapps/ROOT/webadmin/
- OK Webサイト管理 言語ファイル: /usr/local/tomcat/ /webapps/ROOT/WEB-INF/classes/hardcore.properties
- OK Webサイト管理 WebサイトURL: http:// /webadmin/

Webコンテンツ管理システム設定

- OK Webサイト管理 設定ファイル: /usr/local/tomcat/ /webapps/ROOT/ini.webadmin.jsp
- OK Webサイト設定ファイル: /usr/local/tomcat/ /webapps/ROOT/ini.jsp
- OK Webサイトデフォルトの設定ファイル: /usr/local/tomcat/ /webapps/ROOT/defaults.jsp

Webサイトファイルの作成・書き込み権限

- OK Webサイトホーム/ルートフォルダー: /usr/local/tomcat/ /webapps/ROOT
- OK Webサイトアップロードフォルダーの権限: /usr/local/tomcat/ /webapps/ROOT/upload/
- OK Webサイトイメージフォルダー権限: /usr/local/tomcat/ /webapps/ROOT/image/
- OK Webサイトファイルフォルダー権限: /usr/local/tomcat/ /webapps/ROOT/file/

Java Version

- OK Java Version: java.version 1.8 or newer required - found: 14.0.2

WCM Cache

- OK WCM Cache: [useLateral = true, useRemote = true, useDisk = true, maxObjs = 1000, maxSpoolPerRun = -1, diskUsagePattern = 0]

Region Name =)?useSSL=false
HitCountRam = 0
HitCountAux = 0
-----LRU Memory Cache
List Size = 0
Map Size = 0
Put Count = 0
Hit Count = 0
Miss Count = 0

【ステップ1：データベース】

※MYSQLの場合の設定方法になります。Oracleデータベースの場合は読み替えて進めてください。
データベース接続内容が表示されます。

「MySQL Database Server」にチェックを入れると、【データベース接続】欄に以下のように接続情報が表示されます。

「mysql:com.mysql.jdbc.Driver:username:password@jdbc:mysql://localhost/database」

こちらの「username」「password」「database」を環境に合わせて変更してください。

※MYSQL5.7.6以降をご利用の場合はDB接続文字列に「?useSSL=false」を追記してください。

※MYSQL8以降をご利用の場合は下記のように「cj」の追加が必要となります。

「mysql:com.mysql.cj.jdbc.Driver:username:password@jdbc:mysql://localhost/database?
useSSL=false」

変更後、「保存」ボタンをクリックします。データベース接続が問題なければ自動的に「ステップ2：ライセンス」に遷移します。



保存ボタンクリック後は、以下の画面となりますが、画面遷移するまでそのままお待ちください。

```
!create index c_content_idx on content (content);
!create index c_summary_idx on content (summary);
!create index c_author_idx on content (author);
!create index c_description_idx on content (description);
!create index c_keywords_idx on content (keywords);
!create index c_metainfo_idx on content (metainfo);
!create index c_productinfo_idx on content (product_info);
!create index ca_content_idx on content_archive (content);
!create index ca_summary_idx on content_archive (summary);
!create index ca_author_idx on content_archive (author);
!create index ca_description_idx on content_archive (description);
!create index ca_keywords_idx on content_archive (keywords);
!create index ca_metainfo_idx on content_archive (metainfo);
!create index ca_productinfo_idx on content_archive (product_info);
!create index cp_content_idx on content_public (content);
```

こちらはJDBC接続の設定内容となります。

JAVAデータソース接続を行いたい場合は、別途「チューニング設定マニュアル.pdf」をご参照ください。

【ステップ2：ライセンス】

ライセンス情報の入力画面が表示されます。ライセンスコード情報を入力後、「保存」ボタンをクリックします。

※ライセンスコードについて

ライセンスコードは納品させて頂いた「License Sheet」に記載がございます。

入力する際は必ずドメイン部分から入力してください。

例：www.heartcore.co.jp:enterprise:QER5CN75WXXXXXXXXX

のコードの場合、「www～」入力します。

設定クイックスタート

5つの簡単なステップで、新しいWebサイトが立ち上がり、すぐにコンテンツの閲覧、編集ができます。いくつかのステップはすでに設定がされている場合があります。

ステップ0: サーバー ステップ1: データベース **ステップ2: ライセンス** ステップ3: スーパーユーザ ステップ4: コンテンツ ステップ5: デザイン ステップ6: 設定

ライセンス

HeartCore Webコンテンツ管理システムのライセンスコードを入力してください。ライセンスコードを設定するために「保存」を選択してください。

ライセンス		
パーソナル エディション		
プロフェッショナル エディション		
エンタープライズ エディション		
ホスティング エディション		
アドオンモジュール		
ECマース		
コミュニティ		
データベース		
Webアクセス統計値		
エクスペリエンス		
コラボレーション		

【ステップ3：スーパーユーザ】

スーパーユーザ情報の入力画面が表示されます。スーパーユーザ情報を入力後、「保存」ボタンをクリックします。**すべての項目を入力してください。**

設定クイックスタート

5つの簡単なステップで、新しいWebサイトが立ち上がり、すぐにコンテンツの閲覧、編集ができます。いくつかのステップはすでに設定がされている場合があります。

◀ ステップ0: サーバー ステップ 1: データベース ステップ 2: ライセンス **ステップ 3: スーパーユーザ** ステップ 4: コンテンツ ▶

スーパーユーザ

スーパーユーザーのユーザー名とパスワード、およびメールアドレスを入力してください。設定を行うために『保存』を押してください。

スーパーユーザ

ユーザ名

パスワード

Eメール

Eメール
クイックスタートのオプションは、Webサイトのビジターがコンタクトフォーム(または掲示板フォーム)を送信した時点で可能になり、Eメールが送付されます。
この、またはこのほかのEメールの送信時のメールサーバを設定してください

Email アドレス(デフォルト)

注文フォーム
Webサイト上の顧客が注文したとき、受注通知メールがサイト担当者に届きます。

受信者

【ステップ4：Web サイトコンテンツ】

HeartCore で用意されているサンプル用のウェブサイトコンテンツが表示されます。

<サンプル用ウェブサイト>

設定クイックスタート

5つの簡単なステップで、新しいWebサイトが立ち上がり、すぐにコンテンツの閲覧、編集ができます。いくつかのステップはすでに設定がされている場合があります。

◀ ステップ0: サーバー ステップ1: データベース ステップ2: ライセンス ステップ3: スーパーユーザ **ステップ4: コンテンツ** ▶

コンテンツ

下記からあなたが利用するウェブサイトコンテンツを選択し、初期化とウェブサイトのインポートを選択してください (ステップ4のウェブサイトコンテンツを選択すると、再度同じメニューが利用できます。)

ウェブサイトコンテンツ

既存のWebサイトをインポートします

ウェブサイトの選択

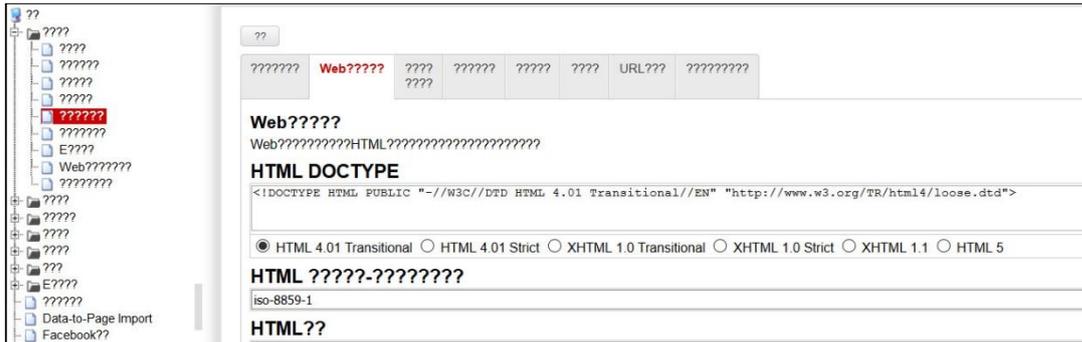
既存のHTMLベースのWebサイトのページ、イメージ、ファイル、スタイルシートやテンプレートをインポートします

<h5>-basic-</h5> <p>ウェブサイトの選択</p> <p>A blank website with pre-created and pre-configured Special Pages.</p>	<h5>-empty-</h5> <p>ウェブサイトの選択</p> <p>A completely blank website.</p>
<h5>Business Japanese Website</h5> <p>ウェブサイトの選択</p> <p>日本語のサンプルサイトです。HeartCoreのほとんどの機能が網羅されており、学習用に、また機能の検証用</p>	<h5>Business Website</h5> <p>ウェブサイトの選択</p> <p>Starter example business website, which includes website sections for a typical business. A product &</p>

用意されているサンプル用のウェブサイトをインポートしたい場合は、任意のウェブサイトコンテンツの「ウェブサイトの選択」ボタンをクリックします。

特にサンプルデータをインポートしない場合は「-empty-」を選択ください。

※「-basic-」をインポートした場合、管理画面の日本語表示が文字化けします。その際は設定>システム>ウェブサイト>Web サイト設定を開いて頂き、文字コードを「UTF-8」に変更してください。



<サンプル用ウェブサイトのインポート>

設定クイックスタート

5つの簡単なステップで、新しいWebサイトが立ち上がり、すぐにコンテンツの閲覧、編集ができます。いくつかのステップはすでに設定がされている場合があります。

◀ ステップ0: サーバー ステップ 1: データベース ステップ 2: ライセンス ステップ 3: スーパーユーザ **ステップ 4: コンテンツ** ▶

コンテンツ

下記からあなたが利用するウェブサイトコンテンツを選択し、初期化とウェブサイトのインポートを選択してください。(ステップ4のウェブサイトコンテンツを選択すると、再度同じメニューが利用できます。)

ウェブサイトコンテンツ

Business Japanese Website



日本語のサンプルサイトです。HeartCoreのほとんどの機能が網羅されており、学習用に、また機能の検証用にお使いいただくことが可能です。マルチランゲージサイトの運用も可能なサンプルで、RSS配信やデータベースのやり取りの方法、商品データベース作成方法や会員サイト運用方法、ショッピングサイトの構築方法等がすべてこのサンプルでご理解いただくことが可能です。また、サポート用のサポートチケットの処理の方法や、パーソナライゼーションの学習等、すべてこのサンプルで理解することが可能になります。

初期化とウェブサイトのインポート

※上記画面キャプチャは「Business Japanese Website」ウェブサイトを選択した場合の例となります。

「初期化とウェブサイトのインポート」ボタンをクリックすると、ウェブサイトのインポートが開始されます。インポート処理には数分かかりますので、インポート処理が完了するまで、ブラウザを閉じずにそのままお待ち下さい。

インポート処理が実行されると、下記のような画面が表示されます。

```
!create index ca_keywords_idx on content_archive (keywords);
!create index ca_metainfo_idx on content_archive (metainfo);
!create index ca_productinfo_idx on content_archive (product_info);
!create index cp_content_idx on content_public (content);
!create index cp_summary_idx on content_public (summary);
!create index cp_author_idx on content_public (author);
!create index cp_description_idx on content_public (description);
!create index cp_keywords_idx on content_public (keywords);
!create index cp_metainfo_idx on content_public (metainfo);
!create index cp_productinfo_idx on content_public (product_info);
```

データベースのインポート中

データベースのインポートには数分(大規模ウェブサイトの場合は数時間)掛かる可能性があります。

データベースインポートが完了したら、管理画面へ自動的にリダイレクトされます。

管理画面にリダイレクトしないままインポートが停止した場合は、[ここをクリックしてください](#)。

currencies
...
content
.....
.....

インポート処理終了後、ウェルカム画面が表示されたら、HeartCore のインストールは完了です。



※ 「Business Japanese Website」 ウェブサイトをインポートした際、ステップ3で登録されたスーパーユーザのユーザー名とパスワードがクリアされて「admin」に変更となります。

その為、ログアウトした場合は、ユーザー名「admin」、パスワード「admin」でログインをお願いします。

9. 注意事項

9.1. Tomcat8 を利用する場合

Tomcat8 以降を利用する場合は、以下の設定を追加してください。

`${TOMCAT インストールディレクトリ}/conf/web.xml` に以下の赤字部分を追記します (デフォルトは true)。
設定後は Tomcat のキャッシュクリアと再起動が必要となります。

```
<servlet>
  <servlet-name>jsp</servlet-name>

  (~中略~)

  <init-param>
    <param-name>mappedfile</param-name>
    <param-value>>false</param-value>
  </init-param>

  (~中略~)
</servlet>
```

また、HeartCore 管理画面の左上部分に検索窓がございますが、文字化けが発生する場合がございますので、その場合は以下の設定を追加してください。

【現象】


$\${TOMCAT}$ インストールディレクトリ}/conf/server.xml に以下の赤字部分を追記します (デフォルトは false)。
 設定後は Tomcat のキャッシュクリアと再起動が必要となります。

```

<Connector port="8080" protocol="HTTP/1.1"
  connectionTimeout="20000"
  redirectPort="8443"
  useBodyEncodingForURI="true" />
  
```

9.2. AWS (Amazon Web Services) 上に HeartCore を構築する場合

AWS(Amazon Web Services) から提供されている「Elastic Beanstalk」ウェブサービスを利用して、データベース (MySQL) を作成する際、文字コードはデフォルトで「latin1」となります。HeartCore ではデータベースの文字コードは「UTF-8」を制限としておりますので、文字コードを変更する必要があります。

こちらの文字コード変更に関しては、AWS 上の操作説明となりますので、AWS の一般的なドキュメントをご確認頂く様にお願い致します。

9.3. Tomcat9 を利用する場合

Tomcat9 の環境にて、Tomcat を正常に停止できない (プロセスが残った状態となる) 現象が確認されております。同様の現象が発生した場合は、以下の設定を追加してください。

対象ファイル: $\${TOMCAT}$ インストールディレクトリ}/conf/Context.xml

追加内容
clearReferencesStopThreads="true"

例)

```
<Context clearReferencesStopThreads="true">~</Context>
```

設定後は Tomcat のキャッシュクリアと再起動が必要です。

以上